

災害ボランティアセンター について

災害ボランティアセンターとは？

大規模災害等の緊急時に設置されるボランティアセンターです。

大規模災害が起きた際、行政の災害対策本部と連携・連絡をとりながら設置・運営します。

災害ボランティアセンターには、全国各地からボランティアが集まります。

災害ボランティアセンターの様子



平成27年長島町災害ボランティアセンター設置訓練 (H27.05.21)

☆災害ボランティアセンターの流れ☆

それでは、災害ボランティアセンターの流れを運営スタッフとボランティアの立場から役割を見ていきましょう。

運営スタッフ



①ニーズ受付

②ボランティア受付

③オリエンテーション

④マッチング

⑤グルーピング

⑥資材の貸出・送迎

⑦ボランティア活動

⑧活動報告(活動終了)

ボランティア



①ニーズ受付

スタッフは、被災者からの依頼を受け付けます。必要に応じて、災害ボランティアセンターの周知や現地調査を行います。

〇〇〇町ボランティアセンター



お困りごとはありませんか？

自宅の土砂撤去を手伝ってほしいです。

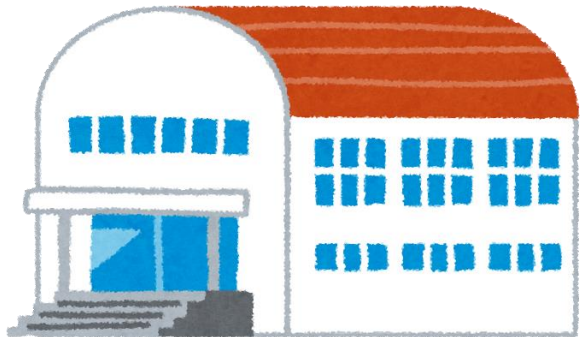
被災者



②ボランティア受付

ボランティアは、受付票とボランティア活動保険加入カードへの記入、名札の作成を行います。(ボランティア活動保険には、必ず加入していただきます。)

〇〇〇町ボランティアセンター



災害ボランティアの支援に来ました。

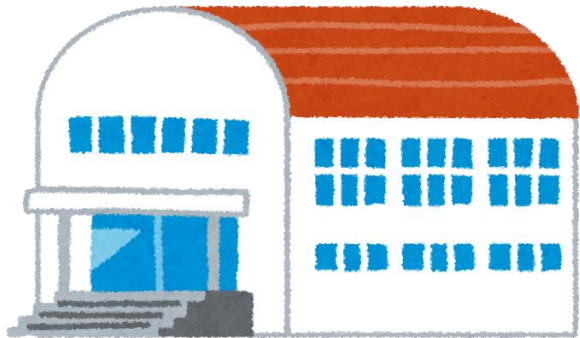
ありがとうございます。受付票にお名前やご住所等の必要事項のご記入をお願いします。ボランティア活動保険の手続きもいたします。



③オリエンテーション

ボランティアは、被災者のプライバシーの保護や寄り添うことの大切さなど活動上の留意事項の説明を受けます。

〇〇〇町ボランティアセンター



それでは、今からボランティア活動の流れや活動上の注意事項についてご説明します。

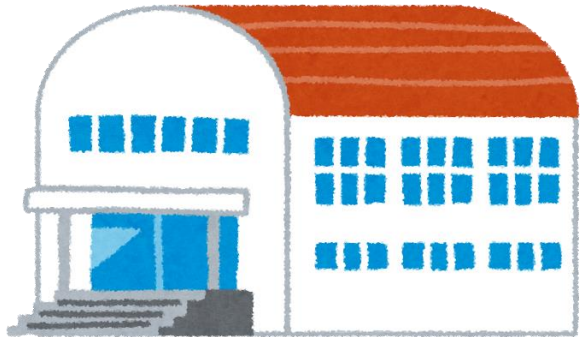
なるほど、プライバシーの保護や被災者の気持ちを考えて、活動しよう。



④ マッチング

ボランティアは、被災者からの依頼内容の説明を聞き、参加したい活動に手を挙げ、活動先を選択します。

〇〇〇町ボランティアセンター



自宅の土砂撤去のボランティア依頼があります。どなたか参加できる方はいませんか。

はい(挙手)。力仕事は任せてください。参加します。



⑤ グループ핑グ

ボランティアでグループを作り、リーダーを決め、詳しい依頼内容の説明を受けます。

〇〇〇町ボランティアセンター



同じ土砂撤去の活動をされるメンバーの方の中から、リーダーを決めてください。リーダーの方には、活動場所や詳しい内容についてお伝えします。

私がリーダーをやります。よろしくお願いします。

グループを作る

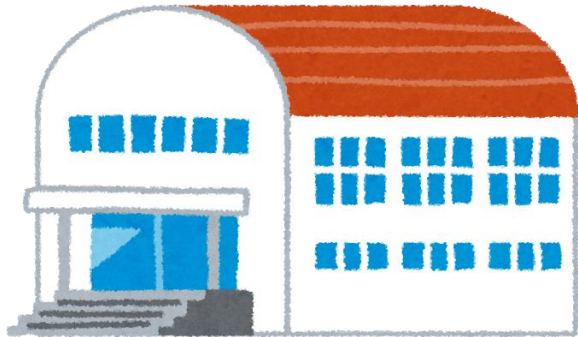
リーダー



⑥ 資材の貸し出し・送迎

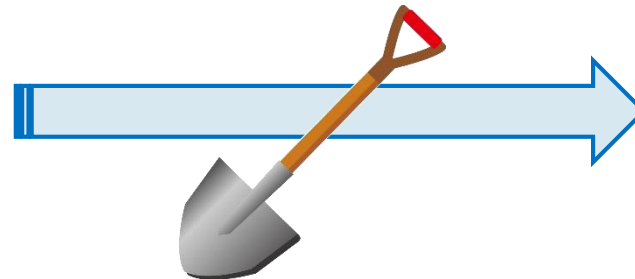
必要な物資や機材等の貸し出しを行います。必要に応じては、ボランティアの送迎も行われます。

〇〇〇町ボランティアセンター



土砂撤去のボランティアに行くので、スコップを貸してください。

かしこまりました。



⑦ ボランティア活動

被災者の気持ちに寄り添うという気持ちを大切にしながら、活動を行います。

活動場所



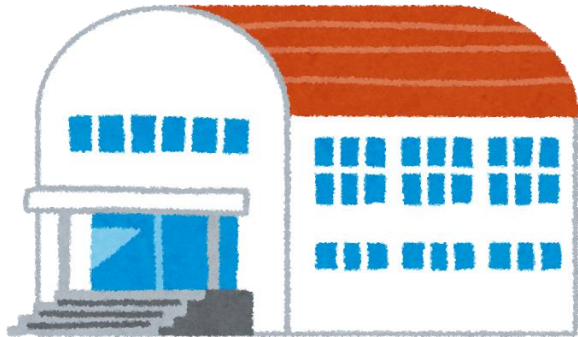
※活動中は同じグループでの行動を共にする。(勝手な行動はしない。)



⑧活動報告(活動終了)

リーダーは、活動状況と活動継続の必要性の有無をスタッフに報告します。活動継続が必要な場合は引き継ぎを行います。

〇〇〇町ボランティアセンター



〇〇様宅の土砂撤去の作業を終えて、ただいま帰りました。

お疲れ様でした。活動報告書の記入と引き継ぎ事項があればお伝えください。



■さつま町でも災害ボランティアセンターが設置されたことがあります。

平成18年鹿児島県北部豪雨災害では、さつま町災害ボランティアセンター(場所:宮之城ひまわり館)が設置されました。7月24日～8月2日の10日間で延べ2,611名のボランティア(町外1,635名)が集まり、復旧支援をしてくださいました。



個人で災害ボランティア活動を行う前に!!

①まずは、被災地の状況及び災害ボランティアセンターの情報（ボランティア受け入れについてなど）をしっかりと把握して、被災地へ今行くべきなのかを考えてください。

→震災直後（発生後72時間）は、救命救急が優先されます。震災直後に被災地へ行くことは、交通状況の悪化を招き、緊急車両や物資輸送車がスムーズに支援を行えなくなる可能性があります。また、二次災害も予測され、ボランティア自身も危険な状況に陥るかもしれません。

②ボランティアであることを認識する。ボランティア活動の際にかかる経費は、自己負担です。

→基本的に交通費や宿泊費は自己負担。宿泊場所の確保や持ち物の準備など入念に情報収集することが大切です。前もって災害ボランティアセンターに問い合わせたり、HP（ホームページ）で確認したりすることをおすすめします。